


## 城西地区

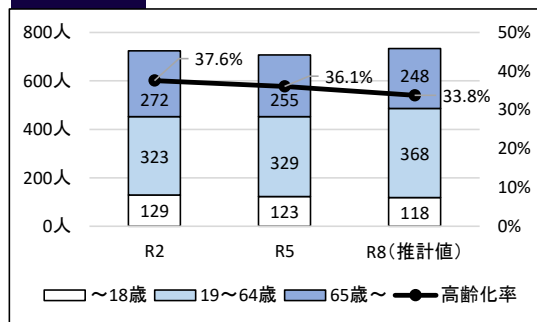
### ◆概要

	【位置図】	まち協名	城西地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市西丸町553-1	電話	0595-82-8495
		地区構成	西丸町 市ヶ坂町 若山町 西町 南崎町		
		地域特性	亀山市の中央からやや東に位置し、亀山駅、市役所、小学校、中学校に徒歩圏内と近く、住みよい地区です。西町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、万町、南崎町、西丸町、市ヶ坂町、若山町、若山住宅、リアルタウン亀山の自治会から成っています。城下町であり、旧東海道が東西に延び、かつては宿場町が形成され賑わっていたようです。亀山市文化財に指定されている加藤家長屋門及び土蔵があり、また、歌川広重の「保永堂版東海道五十三次雪晴」に描かれた京口門跡があります。		
面積	49.2ha	ホームページ	<a href="https://jousei443327939.wordpress.com/">https://jousei443327939.wordpress.com/</a>		
めざす姿	地域の良さを活かし、人々がふれあい、支え合うまち				
地域の誇り	地域、世代間のつながりを深めるさまざまな行事や歴史・文化、自然環境を守る事業に取り組んでいる				

### ◆人口

	令和2年	令和5年	令和8年 (推計値)	増減	
総人口	724人	707人	734人	-17人	
人口密度	14.73人/ha	14.38人/ha	14.93人/ha	-0.35人/ha	
65歳以上	人口	272人	255人	248人	-17人
	比率	37.6%	36.1%	33.8%	-1.5%
18歳以下	人口	129人	123人	118人	-6人
	比率	17.8%	17.4%	16.1%	-0.4%
外国籍	人口	18人	15人		-3人
	比率	2.5%	2.1%		-0.4%

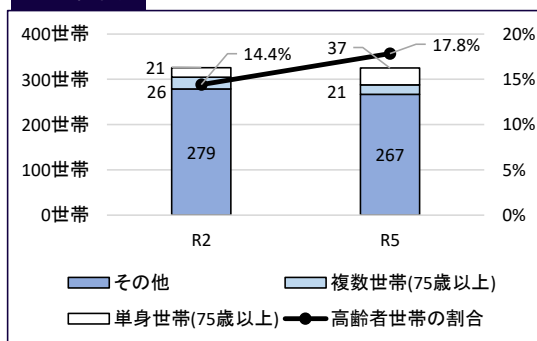
### ◆人口推移



### ◆世帯

	令和2年	令和5年	増減
総世帯	326世帯	325世帯	-1世帯
単身世帯 (75歳以上)	21世帯	37世帯	16世帯
複数世帯 (75歳以上)	26世帯	21世帯	-5世帯
高齢者世帯割合	14.4%	17.8%	3.4%

### ◆世帯推移



### ◆介護保険認定者

	令和2年	令和5年	増減
要支援1.2	29人	25人	-4人
要介護1~5	37人	33人	-4人
合計	66人	58人	-8人

### ◆地域組織

	令和2年	令和5年	増減
自治会	11	11	0
老人クラブ	1	1	0
子ども会	1	1	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	2
主任児童委員	1
福祉委員	10
介護保険施設・事業所	1
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	0
病院・一般診療所	2
歯科診療所	0
薬局	1
保育所	1
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	1
乗り合いタクシー停留所	19

◆担当地域包括支援センター

亀山第2地域包括支援センター もくれん
---------------------

◆サロン活動

	令和2年	令和5年	増減
ふれあいいきいきサロン	1	1	0
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	0	1	1

◆福祉委員会活動

◆構成員 まち協役員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】  
三世代交流事業としてお楽しみ会を開催し、高齢者から子どもまでが交流を行っています。

【訪問活動】  
80歳以上一人暮らし高齢者宅に年2回戸別訪問を行っています。



ゴキブリ駆除団子作成配布



グラウンドゴルフ大会

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・親睦旅行
- ・ゴキブリ駆除団子作成配布
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・子ども花火大会
- ・納涼祭
- ・敬老会
- ・運動会
- ・文化祭
- ・お楽しみ会
- ・三世代ふれあい交流食事会

◆生活支援コーディネーターからのコメント

城西地区の人口は市内で5番目に少ない707人で、そのうち36.1%にあたる255人が65歳以上です。地域内325世帯のうち、17.8%にあたる58世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の2.1%にあたる15人が外国籍です。

地域の特色として、近隣に市役所や駅、医療機関などが立地し比較的生活しやすい環境であると考えられます。地域活動として、福祉委員が中心となりレクリエーションゲーム等を企画・運営する「城西サロン」や敬老会には多くの高齢者が参加しています。また、三世代交流を活発にしようと、行事に小・中学校の生徒や新興住宅地のリアルタウンに住む若い世代が参加できるように、学校を通じた周知が行われており、住民同士のつながりが育まれるよう工夫されています。現在、地区の一部ではゴミ捨てが難しい住民の代わりに近隣の人が手助けしており、今後はこのような自然な支え合い活動が地区全体に広がっていくことが期待されます。